




勝山市 エコミュージアム ニュース 平成24年度の取り組み



 勝山市エコミュージアム協議会

勝山市のエコミュージアム

勝山市がエコミュージアムによって目指すのが、「ふるさとルネッサンス」です。

勝山市独自の自然や風土、伝統や歴史、特有の文化とコミュニティによって成り立っている地域の力を再発見することによって、勝山市の魅力ある個性と特性とを自信を持って表現することが、地域の誇りにもつながります。

私たちが地域に誇りを持つことによって、地域の伝統・文化の継承・保存や地域環境の保全、さらには地域住民の自主性が喚起されます。

勝山市のエコミュージアムは、こうした市民の自主的な活動への支援を通じ、このまちを人間性への回帰に対応した「選択されるふるさと」とすることで、いつまでも住み続けたいまちの実現を目指します。

〈一般事業の部〉

谷はやし込み保存会

谷はやし込み行列

はやし込み行列を35年ぶりに復活させてから、連続13回目になりました。

この行列は江戸中期から始まり、庭掃き、獅子舞、三番叟、笛、太鼓、三味線、アヤボ（男、女）、歴史上の人物、総勢60名あまりが音に合わせて、お寺から伊良神社まで庭掃きを先頭に練り歩きます。三番叟は戦国時代に谷城の頭、西脇惣左門の舞として村人が舞ったと言われていました。獅子舞は五穀豊穡を願った舞として受け継がれています。



谷はやし込み保存会、勝山市青年団体連絡会議

谷のお面さん・雪像まつり

谷のお面さん御開帳に合わせて開催する雪像まつりも10回目を迎えました。今回の雪像づくりは、松文保育園、南保育園の年長園児30名と、青年18名によるボランティアにも加わっていただき、伊良神社境内からお寺まで大小230体の雪像をつくりました。雪像には、民具やお面を付け、夕方にはロウソクに火を灯し幻想的な光景が浮かび上がります。また、夜にはお寺で130名の方が囲炉裏を囲み、伝統料理やおばの味を楽しみました。



くらぶ スイーツ食愛かつやま

とことん勝山のもん

勝山の野菜・果物・酒を使って、飲み物がなくてもすすつのどを通り、クリームを添えなくても口どけがいい、生地そのものの味を楽しめるシンプルなお菓子「菜織シフォン」を開発しました。商品シールも勝山のクラフト作家に依頼するなど、とことん勝山のもんにこだわりました。



食育事業

勝山市勤労婦人センター主催の講座で、おいしい紅茶の入れ方とクリスマスケーキづくりの講師派遣を行いました。家族と一緒に作って、手作りのケーキで食卓を囲むことも食育の一環と捉えて取り組んでいます。



越前大仏門前町の活性化

工房がある門前町のにぎわいのためにカフェを併設しています。昨年は月1回程度の門前市に参加。今年の元旦は、「勝山で初笑い」と題して、女流落語家を迎えて、落語のあとにはティータイムで過ごしていただきました。



まちづくり・むろこの会

村岡山登山道整備

村岡町のランドマークである村岡山を村岡町連合壮年会の皆さんと一緒に、山頂の草刈りや登山道の整備を行いました。あいにくの空模様でしたが、登山道や山頂をきれいにすることができました。



村岡山梯子設置

昨年整備した「郭(くるわ)」をもっとみてほしい。という思いから、「郭」に行きやすいように梯子を設置しました。材料はすべて現地調達で環境への配慮をしました。



村岡山写真絵画コンテスト

身近な村岡山をみなさんの視点で撮影・描くことにより、村岡山の魅力を再発見してもらうため、写真・絵画コンテストを実施しました。約200点もの応募作品には、おもしろい視点で作られた物が多く、審査員も楽しく審査していました。



かっチャまHUB

「かっチャまHUB」月1回の生放送

毎月第3土曜日午前11時から「かっチャまHUB」を生放送しています。毎回テーマを決め勝山の旬の情報をお届けしています。丹南地域ではコミュニティーFM「たんなん夢レディオ」にて、またインターネット(YouTube、Ustream)では世界中どこからでも視聴できます。



「Facebookによる勝山情報の発信」

Facebookに「かっチャまHUB」のサイトを立ち上げ、現在約130名の登録者がいます。各スタッフが勝山ネタを自由に投稿し、登録者は良いと思った記事をシェアすることで、さらに登録者の知人へと繋がっていき、情報が広がります。



猪野瀬まちづくり推進協議会

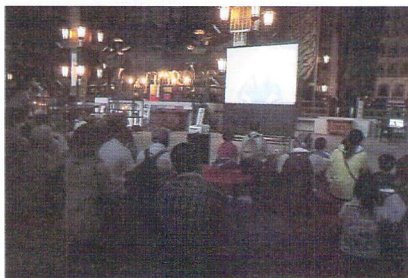
大師山自然観察会

5月下旬から6月中旬にかけ、かれんな花を咲かせるシソバツナミソウの観察をメインにした自然観察会を6月2日に開催しました。山頂では、参加者のおもてなしとして、鍋のふるまいやオカリナ演奏を行いました。



泰澄大師にまつわるDVDの上映

大師山の頂上付近には「大師堂」があり、平泉寺を開祖した泰澄大師がまつられています。その泰澄大師について更に理解を深めてもらうため、8月13日の大師山たいまつ登山に併せ、越前大仏の大仏殿においてDVDを上映しました。



標柱の設置

大師山には、一般登山道コースと森林浴コースがありますが、入口が分かりにくく登山者が迷うおそれがあるため、案内標柱を設置しました。



元禄一番街繁栄会

この事業は勝山周辺観光地の来訪者や、市民の方々に中心市街地への誘客を計り、歩いてまちを味わい、地域の人との出会いを通し勝山ならではの魅力と賑わいを創出することにあります。

祈りと願いのかたち展

この事業も3回目を迎え、本年は環境自治体会議に合わせ5月24日～27日に実施しました。事業エリアも元禄一番街から本町通りへ、展示する商家、民家も20軒に拡大し着物や袱紗、布など40数点を展示しました。また、民家3軒のお庭の公開や

イソザキホールでの個人コレクションの展示、お茶会と連携を計りより一層まちを楽しめる事業としました。



夏祭り・願いのかたち展

8月1日から14日、市内6つの保育園、幼稚園児に描いてもらったフラッグを元禄一番街通りの街路灯や周辺の店舗、施設に展示し、まちなかに彩りを演出しました。



越前甲トレイルクラブ

八反滝トレッキングコースの整備

越前甲の魅力の発掘を目的として設立した越前甲トレイルクラブでは、わがまち魅力醸成事業の助成を受け「八反滝トレッキングコース整備事業」に取り組みました。今年度は、ルートの設定、雑木等の伐採、コース整備を行いました。来年度は案内看板の設置、トレッキングイベントの開催などの事業を展開する予定です。トレッキングコースは国道416号線からのアクセスもよく、子供からご年配まで楽しめます。



越前甲登山にて八反滝を巡る

7月22日（日）に越前甲登山が開催され、県内外から108名が参加しました。登山に向かう前には、整備されたばかりの八反滝トレッキングコースを歩いて滝の真下まで行きました。前日の大雨で滝の水量は増し、とても迫力のある八反滝を見ることができました。



八反滝の四季折々の魅力を探る

当該事業に着手するに当たり、八反滝やその周辺へ何度も足を運びました。トレッキングコース開設後も、草刈り、看板に書き込む内容の調査、看板の設置場所の確認などを行い、四季折々の八反滝の表情を感じ取ることができました。これを来年度の事業に生かしていきたいと思えます。



野向町まちづくり推進委員会

「のむき風の郷 秋まつり」の実施

のむき風の郷のオープンに合わせ秋まつりを実施しました。

秋まつりでは、野向町の伝統芸能（大日太鼓、高尾山音頭保存会など）をはじめ、他地域との交流を目的として谷はやし込み保存会および片瀬銭太鼓に出演していただきました。来場した方から、「一度見てみたかった」、「野向で見られてよかった」など、評価する声を多数いただきました。模擬店では、野向産そばや、エゴマ食品、あまごの塩焼き、地場野菜バーベキューなど、地域の特産品を販売し地産地消を図りました。



かつやまの音楽家のたまごたちコンサート実行委員会

公開オーディション・ 公開講座・公開レッスン

6月30日 勝山市民会館にて、9月開催の本コンサートを目指して17人の勝山の子も達が出演。審査の結果、小学生から高校生までの10名が合格しました。公開講座では動きのリズムと音楽の楽しさを教えて頂き、審査員の先生方からは直接に演奏指導をして頂きました。



藝大カルテットによる プレコンサート

9月22日 勝山市民会館にて、東京藝術大学より木管五重奏団を招き、お話を交えながらの楽しいコンサートを開催しました。また市内外の吹奏楽部の生徒さんにワンポイント・レッスンも開催し、和やかな雰囲気の中、真剣に耳を傾ける生徒さんの姿が印象的でした。



かつやまの音楽家のたまご たちコンサート2012

9月22日 勝山市民会館にて、ソロと室内楽の各部門で演奏をしました。室内楽では藝大カルテットとの協演という貴重な体験を通じ、ソロ演奏では更に磨きのかかった力強い演奏が聴かれました。来場の皆様からも絶賛され、将来が大いに期待される「たまごたち」でした。



勝山地区エコ推進協議会

町なか歴史ウォーク

勝山の町中の歴史を多くの人に知っていただくために、年間2回のペースで開催をしています。

今年ではせいきコミュニティスポーツクラブとの共催で、ポールを使ったウォークを取り入れ、健康と歴史をテーマに『ノルディックウォークで歴史自然散策』を第1回目に開催しました。

第2回目には子どもを対象に、夏休み企画『おやこ歴史ナイトウォーク～昔の学校へタイムスリップ～』と題し、自分たちの通う小学校の歴史を歩いてたどり、成器堂では昔の学校体験を行いました。



武道場石垣と、勝山城址之碑、 林毛川碑周辺の清掃活動

5月13日に、歴史的景観を守っていくための活動『エコミュージアム清掃活動』を開催しました。

平成22年よりはじめた活動で、今年は武道場横の七里壁側面と、市民会館横の勝山城址碑、そして林毛川碑周辺の3か所で行い、地元の元禄区の区民のみなさんの協力を得ての清掃活動でした。



歴史の道高札の修理と点検

勝山地区エコ推進協議会は、平成18年の勝山市エコミュージアム『わがまちげんき創造事業』で、町中に歴史の道の高札30本を設置いたしましたが、これらの高札はベニヤ材で作られているため、風雪等の影響で傷みが目立ってくるようになってきました。

今年度、すべての高札を点検し、特に痛みが激しい高札板を、景観にも考慮して、耐久性のある上質の木材に変えての補修作業を行いました。



(公社) 勝山青年会議所

エコキャップアート

子どもたちが、わがまちが誇る宝の一つが恐竜であることを改めて実感してもらうとともに環境意識の向上を目指すために、エコキャップアート（ペットボトルのキャップで描く展示ボード）という形にしてもらいました。アートの制作には多くの親子に参加していただき、協力して行う作業の中で親子の絆が更に深まったと思います。出来上がったアートは市内に設置し、市内外の方々に勝山が恐竜とエコのまちであることを発信できたと思っています。



マスオさんの語りで紡ぐ親子の絆

子どもたちの『明るい豊かな未来』のために、大人が考えるきっかけづくりとして講演会を実施しました。講演会には、サザエさんでおなじみの声優、増岡弘氏（マスオさんの声を担当）を招き、家庭や親子の絆をさらに深めていただくような内容で講演をしていただきました。参加していただいた皆さんには、子どもたちの明るい豊かな未来に向けた一助にしてほしいです。



荒土町ふるさとづくり推進協議会

大人気「荒土の炭」

今年度は、燃料用と加工用のために、炭焼きを3回行いました。年々原木の調達に難しくなっており、すべて手作業の重労働ですが、購入者の皆様からの好評を糧にがんばっています。なお、燃料用の炭は、ほぼ完売状態でした。



炭焼きを実践教育の場に

今年度も荒土小学校の5年生児童による、苗木の管理、伐採地への植林、炭焼き体験を行いました。今年はさらに民芸品の加工体験も行い、ふるさとに受け継がれる自然と、伝統技術の大切さを実際に手にとって学んでいます。



新名物「ウド」の栽培

炭窯近くの休耕田を活用し、特産化に向けた努力を続けてきた結果、かつやま環境自治体会議の試食会にウドを提供することができました。また、同時に開かれた販売会では、時間の終了を待たずに完売する好評ぶりでした。



遅羽町住民協議会

カタクリまつり

春のパンピラインでは、ハイキングコースに沿ってカタクリの花が咲き乱れ多くの方が登山に訪れています。住民協議会では「カタクリまつり」として、自然観察会や地元特産物の販売会を行いました。



環境自治体会議への参加

平成25年5月に開催された環境自治体会議に話題提供者として参加し、当会が行っている登山道の自然環境保護活動について発表を行いました。



登山道の整備

壮年会の会員約40名の協力で登山道の草刈り・階段の補修を行いました。崩れた階段に杭を打ち直す等、登山者が安全に通行できるハイキングロードを整備しました。



勝山城博物館

勝山城清明茶会

平成25年4月21日(日)

春爛漫の中、各流派の方々により濃茶席・薄茶席・点心席・野点席を設え大茶会を開催いたしております。お茶席では優雅でしっかりと落ち着いた風情をお楽しみいただき、また郷土料理も加えての点心席は好評です。どうぞ皆様お誘い合わせてお気軽にご来館いただきますようお願いいたします。



勝山城博物館特別展「勝山・大野の家紋と道具」

平成24年7月24日(火)～8月28日(火)

毎年地域にふさわしいテーマを取り上げ奥越の歴史・民族を紹介する特別展を開催しております。昨年は「家紋」を取り上げ、勝山や大野の武家等の瓦から美術品に至るまで家紋の付いた資料を展示しました。今年は勝山に残る古絵図を取り上げたいと思います。



第7回 越前勝山城「お城を描こう」絵画作品展

平成24年10月～11月

(応募締切り 毎年9月30日)

「ふるさとのお城を描こう」をテーマに、勝山市をはじめ県内外の保育園・幼稚園・小、中学校の子ども達の描いた写生画を募集し、ふるさとの城を通して郷土への関心を高めてもらい、郷土愛を持ってもらおうという絵画展です。頑張り認められた作品には賞状・副賞を、惜しくも選にもれた作品には参加賞を贈呈、入賞作品を城内に展示いたしました。24年度は700点を超える作品が集まりました。



北郷町まちづくり協議会

上野入り口の花壇整備

「きれいに咲いているね」と道行く人が立ち止まって眺めてもらえるように3年がかりで整備してきました。もとは石のゴロゴロした、ただの斜面でしたが、今では花でおもてなしができます。



大鷲滝の道路整備

岩屋奥の落差20mの優雅に流れ落ちる「大鷲の滝」はどこか？と尋ね来る人たちに少しでも喜ばれるよう、朽ち果てようとしている柵を取り替え、荒れた道を整備しています。風雪に耐えられる遊歩道を崖に造っています。



里山自然観察園の整備

ピオトープとなりうるか、モミジ鑑賞地にすべきか、憩いの公園にするか、春夏秋冬いずれの季節にも訪れがいのある観光地にしたいとの思いで、植樹と草刈りを3年間つづけて取り組んできました。今では周辺の景色を気軽に楽しんでいただける場所となりました。



沢山会 市民ふれあい農園開設

子供会との世代間交流

子供会の皆さんと一緒に田植え体験を通して農業の楽しさと後継者育成に貢献しています。子どもは泥んこ遊びが大好きで、また、おたまじゃくし、アメンボ等を見つけて大変楽しんで田植えをしています。来年は稲刈り体験も計画したいと考えています。



保育園児との収穫祭

●さつまいも掘り体験

今年は、子供会にさつまいもを植えさせて、子供会、北保育園、中央保育園、ケイター保育園を招待し、さつまいも掘り体験をしてもらい、その時に、いなご、バッタ、こおろぎ、赤トンボ等を見つけ、大変児童に喜んでもらえました。



●だいこん掘り体験

今年初めてだいこん掘り体験を計画し、白木保育園児を招待しました。みんなで大きいだいこんを引き、園児に大変喜ばれました。



北谷町まちづくり推進協議会

のぼり旗の設置

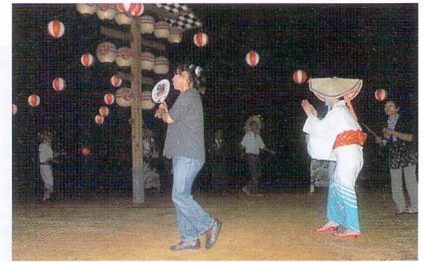
北谷町まちづくり推進協議会では、昔おどり継承事業として活動を始めました。

昔おどりを広く皆さんに知ってもらうため、のぼり旗を新しく作成し、主に国道157号線沿いに設置する作業を実施しました。



「昔おどり」のつどい開催

今年は、木根橋の白山神社で開催し、当日は練習を重ねた「はいや」や「千本搦ぎ」を町民が披露し、その踊りを真似て帰省客や町外の人が生唄に合わせて楽しみました。かがり火の焚かれている幻想的な中、再会を喜ぶ人たちの笑い声があふれていました。



縄文の里料理研究会

ホタルと郷土料理で町おこし

勝山市の魅力の一つに「ホタル」があります。今年は第2弾として「ホタルが飛び交う縄文の里散策と郷土料理」と称して市内外へPR、心をこめて郷土料理でおもてなしをし、大変好評でした。



勝山市へようこそ

「ホタル飛び交う縄文の里散策と郷土料理」のミニイベントには、市外の方に混じり、地域の親子も参加しました。

フルーツやマリンバの演奏や手品、ホタルについての講演会など多彩な催しに大変喜んでもらい、クライマックスのホタル観察会では、たくさんのホタルが飛び交う光景に感激していました。



勝山産農産物で町おこし

大寒に入ると、かきもち作りは最盛期を迎えます。勝山産のきび、えごま、あわ、黒米、よもぎを使った五色のかきもちのほかにも新商品の開発をしています。勝山サンプラザの太陽市やゆめおーれ勝山でお買い求めください。



鹿谷町まちづくり協議会

雪像コンテスト（鹿谷町雪まつり）

昨年度の勝山北部中学校の生徒の提案により、新たに「雪像づくりコンテスト・小型部門」を創設。90センチ四方の小さな雪像も募集したところ、中学生や親子などの応募者がたくさんありました。また、「まち婚」ならぬ「雪婚」を楽しむ団体もあり、冬の一時を楽しむイベントとなりました。



〈新規チャレンジ事業の部〉

ハーモニカボランティア「そよ風」

「ゆめおーれ勝山の七夕飾りつけ」 ケイター保育園との交流

七夕の飾り付けの後、園児たちがハーモニカに合わせて、七夕などを元気いっぱい歌ってくれました。

貸し出しのハーモニカを紹介すると「やりた〜い！」と両手を上げるので消毒を繰り返しながら進めましたが、時間が足りず吹けなかった園児の顔が今も目に浮かびます。



猪野瀬公民館での敬老会

顔見知りの多い中での演奏は緊張の連続！でも、ある方が「歌好きやで〜」とステージに駆け上がられたおかげで会場が沸き、笑顔に包まれました。



暮らしの中で歌を愛し、地域を明るくし、絆を深めておられるそのお姿を尊く思いました。

赤尾地区ふれあいサロン交流

会場にはハーモニカ持参の方もおられ、早速、「癒しの音色を広めよう」を合言葉にしている私たちの仲間になっていただき、演奏開始しました。



リラックスタイムでは、前向きな話題で盛り上がり、音楽を通して人と人が交わりあうことの大切さを実感しました。

いのせボーンくらぶ

いのせ☆いもじゃーガーの試作

農業の盛んな猪野瀬地区で採れる食材（里芋、ねぎ、ヤーコンなど）を使った手軽で食べやすいご当地バーガーの開発を行うため6月下旬より試作を重ねました。いのせ文化祭で、試食を行いアンケートをとり、材料の種類や分量を調整しながら完成間近となっています。また、イメージキャラクターの制作も行いました。

さらに平成24年度わがまち魅力醸成事業報告会時、会場にいる方に試食をしていただき好評を得ました。



ふるさと料理研究会

市や県のふるさとづくり 対しての協力

奥越地区ふるさとづくり大会が始まって以来、料理づくりや参加の協力をしてきました。参加者も年々増え、ふるさと料理（伝承料理）に対しての関心も深まってきています。地産地消の意識や次世代へ引き継いでいく責務が少しずつできつつあるのではないかと感じています。



うまいもんまつり や 勝山年の市への出店

会員がそれぞれに得意な料理を持っていることが出店への勢いになっています。クラブキやさといもの煮ころがしはすぐに売り切れ、根強い人気の商品となっています。しかし、少々マンネリ化していると思われるので、研修し合い、新しい商品開発に精進したいと思っています。

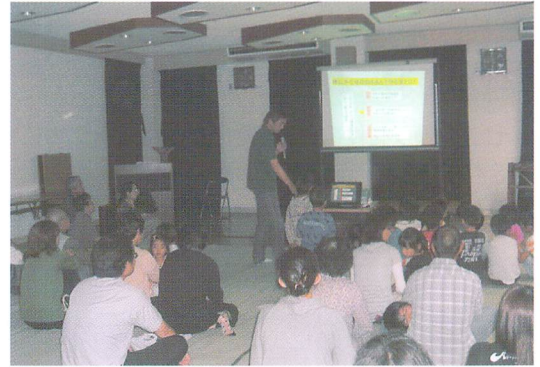


比島区ホタルを愛する会

ホタル観察会

6月23日（土）遅羽公民館において「ホタルの飛び交う比島区へみんなで見に行こう」を合言葉に、夕方6時ごろより80人ほどの親子が集まりました。

最初はフルートやマリンパの音楽鑑賞で盛り上がりそのあと、松山信裕氏より『ホタルの一生』について話があり、7時30分ごろより大型バス2台で比島区まで移動し、観察会を実施しました。ホタルがいっぱい飛び交い、楽しいひと時を過ごすことができました。



のむきエゴマ食品研究倶楽部

環境自治体会議に出店

5月26日に開催された環境自治体会議に出店し、えごまラー油、えごま味噌を販売しました。

試食を行ったところ、全国各地から来られた方々にとても好評でした。



各種イベントに出店

えごまラー油やえごま味噌などのエゴマ食品は、のむき風の郷やゆめおーれでの常時販売をはじめ、横浜で開催されたかつやまフェア2012、野向町夏まつり、越前甲登山、ゆめおーれフェスティバル、すこやかフェスタ、鹿谷町雪まつり、年の市などのイベントで販売しました。



また、7月にはNHKで活動を取り上げられたり、情報誌Ulara、Fu、ちゃまなどにも掲載され、エゴマ食品のPRを効果的に行うことができました。

活動拠点を「のむき風の郷」に!

エゴマ食品研究倶楽部の活動拠点を「のむき風の郷」に置き、週5日の営業に合わせエゴマ食品の調理、販売を行っています。

のむき風の郷は、野向産の農産物や山菜、加工品、手工芸品等の販売コーナー（直売所）や、季節に応じたイベント、体験型農園、休憩や交流ができる憩いの場、野向町の情報を発信する施設。集客が見込めるため、エゴマ食品を効果的にPRできます。



勝山市ジオパークガイドの会

恐竜化石発掘地見学会予行、現地予習

8月26日の恐竜化石発掘地でのガイド本番に向けての予行、現地実習を行いました。

会員が相互にガイド役とツアーに来られたお客様役になってガイド講座や恐竜博物館主催のセミナー等の学習成果を味わい深く説明しました。



ガイド教本の作成

写真はガイド教本を作成するために、会員が集まり、協議しているところです。

「恐竜・恐竜化石」、「火山と火山活動」、「地質、地形遺産と人々の暮らしとの関わり」のパートに分かれ、教本の作成について話し合いを持ちました。



勝山B級グルメ開発会

左義長おにぎりアピール活動

4月22日に勝山城清明茶会に対し、左義長おにぎりを納品し、食べていただきました。紅しょうがやたくあん等を使って、左義長をイメージしたおにぎりに仕上げ、参加された方々から、好評を得ることができました。



かっちゃんまきアピール活動①

8月25日に勝山青年会議所の依頼を受け、福井たから市にて「かっちゃんまき」を初めて販売しました。売行きはまずまずでしたが、調理したものを輸送したため、油分でベタベタになってしまい、次回への新たな課題となりました。



かっちゃんまきアピール活動②

1月27日の勝山年の市にて、2回目の「かっちゃんまき」販売をしました。前回の反省を活かし、今回は注文後に揚げるよう工夫しました。お客さんから「おいしい。がんばって」と言われ、やりがいを感じた一日となりました。



片瀬銭太鼓保存会

九頭竜ワークショップ夏祭りに初参加

8月4日(土) 九頭竜ワークショップ夏まつりに初めて参加しました。グラウンドに仮設された大きな舞台での銭太鼓を多くの参加者に楽しんでもらいました。また、銭太鼓(片瀬豊年ばやし)に俵芸を取り入れました。



「のむき風の郷」オープニングイベント

9月22日(土)に「のむき風の郷」オープニングイベントに多くの芸能グループが参加。「のむき風の郷」の隆盛を願って銭太鼓を演じさせてもらいました。記念すべき「のむき風の郷」の発足を祝って俵芸を入れさせてもらいました。



片瀬区白山神社秋まつり奉納

9月22日(土)今年で3回目の片瀬白山神社秋祭りでの奉納をしました。今回は北谷町より譲り受けた大舞台を本殿に正対して組み立て、浦安の舞、獅子舞を太鼓と共に演じられました。なお、銭太鼓に初めて餅つき芸を取り入れました。



皿川を愛する「新堂会」

河川の清掃

川で遊ぶ前に、参加者全員で河川の清掃を行いました。豊かな自然を誇るといわれる勝山でも、いろいろなゴミが見つかり、このような現実を目の当たりにして、自然保護の大切さを学ぶと同時に、保護の難しさを実感しました。



いきもの観察

勝山市環境保全推進コーディネーターの前園氏を招いて、生き物観察会を行いました。普段は地引き網が禁止されている区域ですが、特別に許可を頂き、関係各所の多大なご協力により実現した、貴重な自然体験でした。



川遊び体験

子ども達に自然に触れる機会を提供すべく、むかし懐かしい笹ふねや笹ふえを作って遊んだり、川に作ったいけすに鮎を放ち、鮎のつかみどり体験を行いました。参加者がとった鮎は、その後の昼食会で焼いて食べました。



ゴートミュージックの会

Goat Music 定期コンサート

勝山のヤギ牧場へのチャリティと音楽を気軽に発表できる場づくりを目的とし、ゴートミュージックと題して、毎月、コンサート開催しました。

市内の音楽家のみならず、市外（鯖江市、坂井市）からも出演していただきました。



Goat Music 牧場コンサート

子ども育成会連合会の夏休み企画「ヤギとあそぼっ」で、ヤギ牧場にふれあい体験に来た市内の小学生たちに、牧場コンサートとして童話「七匹の子ヤギ」をアレンジした歌劇を披露し、オトナとコドモとヤギが互いに触れ合いました。



Goat Musicファイナルセッション

1年限定で始めたゴートミュージックの最後を飾り、全4時間30分の盛大なラストコンサートを開催しました。

ジャンルを超えて集まった音楽家が演奏を楽しみました。市内にはこのような「場」が必要だと、皆が実感しました。



ヤギの会

浄土寺ヤギ牧場

勝山市村岡町浄土寺（温泉センター水芭蕉の奥）にヤギの牧場を作っています。

現在、15匹のヤギが暮らしており、春になったら放牧しますので、みなさん遊びに来てください。



ヤギの牧場づくり

平泉寺からの牧場の移転に伴い、ヤギ小屋、柵などの新しい牧場施設の建設を行いました。

素材にはできるだけ環境にやさしい廃材を活用したため、時間がかかりました。



ふれあい体験

春には、ゆめおーれのふれあい体験のイベントに出張し、大勢の子どもさんたちと楽しく一日を過ごしました。その他、保育園などにも出張ふれあい体験を実施しています。



勝山市民活動ネットワークまつり実行委員会

昭和オールドカー物語

勝山市民活動ネットワークまつりの呼び物として、今年は「昭和のオールドカー」を展示しました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、同日開催されたB級グルメの会場にも展示できたので、両会場の橋渡しができ、祭りを盛り上げてくれました。



アシスト企画

勝山市歌の企画（歌詞の募集）

勝山市の伝統継承に併せて文化が発展することを望んで勝山市歌の企画を始めました。まず、2月下旬に全国誌「公募ガイド」や「福井新聞」で歌詞の募集を行いました。このときに、市内外、全国に勝山市をアピールします。応募者に、勝山を知っていただくために、勝山市に足を運んでいただくことも目的としています。今後は歌詞の応募作品の中から選考した1作品に合わせてメロディを制作する予定です。

※福井県勝山市イメージの詩募集
勝山市が活気に溢れ、生活に
いる喜びを感じ、県外在住の出身者
も故郷を思い出すような、心あたたまる
詩を募集いたします。募集期間は
2013年4月20日（日）までです。
募集先：〒911-0802 勝山市
河合町二丁目一六五 アシスト企画
〒911-0802 勝山市
河合町二丁目一六五 アシスト企画
電話：090-2090-9594
FAX：090-2090-9594
※募集期間：5月勝山市公報に掲載予定
・主催 アシスト企画 勝山市
・主幹 未来館課長 勝山市
・事務局 未来館課長 勝山市

<p>2013 4/20</p> <p>詩 「福井県勝山市イメージの詩」募集</p> <p>募集先：〒911-0802 福井県勝山市河合町二丁目一六五 アシスト企画 電話：090-2090-9594 FAX：090-2090-9594</p>		<p>【主催者から】 日本唯一の大規模鉄道博物館や自然を眺め、 緑の山々、影のほく川など、そんな勝山市のイ メージを詩にして日本各地にアピールしてい ます。</p>
<p>募集先：〒911-0802 福井県勝山市河合町二丁目一六五 アシスト企画 電話：090-2090-9594 FAX：090-2090-9594</p>	<p>募集先：〒911-0802 福井県勝山市河合町二丁目一六五 アシスト企画 電話：090-2090-9594 FAX：090-2090-9594</p>	<p>募集先：〒911-0802 福井県勝山市河合町二丁目一六五 アシスト企画 電話：090-2090-9594 FAX：090-2090-9594</p>

お知らせ

勝山市イメージの詩

恐竜博物館、奇祭左義長、平泉寺など、奥越勝山の現在および未来をイメージした詩を募集します。

要項：400字詰原稿用紙2枚以内、応募点数制限無し、コピーでの応募が望ましい

〆切：平成25年3月31日（消印）

◎最優秀賞、佳作等の審査にて記念品贈呈。

問合せ・送付先：〒911-0802 勝山市河合町二丁目一六五

アシスト企画 河合敬治
090-2090-9594

鹿谷町自然を守ろう隊

勝山市にはびこる外来植物を駆除しよう！「セイタカアワダチソウ根ごそぎ大作戦」

中部縦貫自動車道が開通してから、4年が経過しようとしていますが、その周辺を中心に「セイタカアワダチソウ」が蔓延しはじめ、周辺の植生に変化がみられるようになりましたが、町民（大人）の危機感は薄いものでした。

「未来に誇るべき元々の勝山の風景を残そう」という鹿谷小学生児童の呼びかけに答え、駆除日当日（9月22日）は、町民だけでなく国土交通省やその関連業者、環境問題に取り組んでいる町外の企業など総勢120人あまりの方が集まりました。子ども達の提案が地域内外の大人や行政などを動かし大きなうねりとなったことが評価される点でしょう。当日、駆除活動にも参加した鹿谷小学校児童からも「私達の声がみんなに届いてうれしい！」との感想が聞かれました。



Dance Studio Advanstar

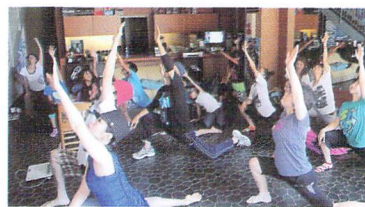
東日本大震災被災地子ども受入プロジェクト

勝山市内の小中学生に向けて無料のダンスレッスンを行いました。30日はちょうど陸前高田市から勝山市へ合宿に来ていた生徒達が出て、体は疲れていましたがそれでも厳しく接しました。生徒の何人かは涙を流しながらダンスをして、それでも最後までついてきてくれて、レッスンの最後にはみんな笑顔でダンスが面白いといってくれました。ダンスの中にはオリジナルのポーズを思い思いに決めてもらうシーンがあり、一人一人の個性あるポーズと笑顔は今も記憶に残っています。31日～3日にはとある兄弟が毎日通ってきて、とても真剣にレッスンを受けてくれました。ダンスはまだまだ受け入れてもらえない部分も大きいですが、ダンスを通じて考え方を学んだり、頑張ると言う気持ちを養ったり、身体的にも成長し、リズム感を鍛えることが出来ます。子供達も5日間で十分それを感じてくれたのではないかと思います。



ストリートダンス講習会

高柳信也先生をお招きして、子供時代における栄養と適度な運動がもたらす身体の成長について、さらには運動時に必要な正しいストレッチの方法とその効果についてワークショップをして頂きました。勝山市内だけでなくあわら市や福井市、大野市、越前市などから参加者が訪れ、お隣の石川県や富山県からも受講を希望する方が大勢いらっしゃいました。講義参加者は思い思いにお話に傾いていかれて、子供だけでなくその親御さんも一緒に参加していただきました。ダンス指導やダンスバトルもして、身体だけでなく頭の中まで勉強できた一日になったと思います。ダンスバトルは白熱して、まだまだレベルが高いとはいえ勝山の小さなダンサー達もがんばっていました。結果は負けてしまいましたが、次は勝ちたいと意欲を見せてくれることが嬉しかったです。



勝山北部中学校生徒会 北中まちづくりプロジェクト

九頭竜川を世界で8番目に美しくする運動

九頭竜川清掃を実施し、ゴミを分析しました。多かった農業系のゴミを出さない方法を提言しました。まちからゴミを無くすために、コンビニでもマイバック使用を諸会議に参加し呼びかけました。社会科の授業で行政相談を経験し河川整備を依頼しました。



今が勝つ山！絵馬型ステッカーで勝山をPR

勝山の魅力を市民一人一人がPRできるように、オリジナルステッカーを作成・販売しました。

自分達が中学生であることを生かし、将来も住み続けたい勝山市をめざします。「今が勝つ山！」のコピーとオリジナルキャラを作成！情報発信に挑みました。



雪まつりで提言！将来も住み続けたい勝山をつくるために

鹿谷町雪まつりにおいて、鹿谷町の人口減少を食い止めるため、雪祭りを盛り上げる方法を提言。高速道路一部開通によるストロー現象の危険性を訴え、勝山市の魅力を磨き、発信することの重要性を発表。

自分達自身も雪まつりに積極的に参加しました。



●勝山市エコミュージアム協議会加盟団体

勝山地区エコ推進協議会	四葉のクローバー会
猪野瀬まちづくり推進協議会	おさんぼマップ部@らぶ勝
平泉寺町まちづくり推進協議会	沢山会
まちづくり・むろこの会	元禄一番街繁栄会
北谷町まちづくり推進協議会	かつやまの音楽家のたまごたちコンサート実行委員会
野向町まちづくり推進委員会	縄文の里料理研究会
荒土町ふるさとづくり推進協議会	片瀬銭太鼓保存会
北郷町まちづくり協議会	スイーツ食愛かつやま
鹿谷町まちづくり協議会	勝山商工会議所
遅羽町住民協議会	(社) 勝山青年会議所
勝山市観光ガイドボランティアクラブ	テラル越前農業協同組合
勝山恐竜研究会	(社) 勝山観光協会
勝山ネイチャークラブ	(協) 勝山サンプラザ 青年部
勝山市まちづくり委員会	(財) 勝山城博物館
ふるさとルネッサンス委員会	(株) 東急リゾートサービス
谷はやし込み保存会	福井県立恐竜博物館
勝山エコミュージアム企画	越前大仏
わくわく体験学習推進隊	勝山市文化財保護委員会
勝山市電車利用促進会議	勝山市
小原ECOプロジェクト	